



### ●災害時の 避難計画について

改選前の9月定例会で「委員会質問」が導入されました。これは各常任委員会で取り組んだ事務調査の内容をもとに質問ができるものです。  
横手市議会初の委員会質問を青山ゆたかが総務文教常任委員会を代表して行いました。

## 9月定例会

# 青山ゆたか

## 9月1日

# 委員会質問 要

### ▼避難方法・避難所の在り方

**質問** 地域ぐるみでの認識共有や、市民自らの意見で行動するための意識啓発に向けてどのように取り組んでいくのか？

**答弁** 地域や学校に出向き、防災マップの活用方法などの講習会を開催している。

**質問** 地区ごとの自主防災マップづくりについて、市としての具体的計画はあるのか？

**答弁** 明確には答えられないが、少しでも前に進められるように取り組む。

### ▼備蓄の在り方

**質問** 各地区へのバランスある配備や機能性・保存性が向上している備蓄品の有効活用は考えは？

**答弁** 集中と分散を組み合わせた配置を進めている。新型コロナウイルス対策としては、消毒用アルコールなどを配備した。

### ▼情報伝達手段

**質問** 防災行政無線存続の声が多く寄せられている。新システム導入を含め、再検討は可能ではないのか。

**答弁** デジタル無線には移行しない。アナログ行政無線の使用期限に合わせて廃止する。

**質問** 市長は以前、「多重化に取組む」と発言している。だとすれば、その多重化になぜ防災行政無線は入らないのか？

**答弁** 現在のメインであるFMラジオは、防災行政無線の個別受信機という取り扱いで使っている。

### ▼防災リーダーの育成

**質問** 今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 県の事業を活用して防災士資格の取得支援を行っている。機会を逃さず、育成に努める。

**質問** 市ではどのくらいの数の防災士が必要と考えているのか？

**答弁** 各地区に2〜3名必要だ。育成については市として事業化することも考えている。



▲総務委での議論の様子

### ▼災害弱者の不安解消

**質問** 支援体制をどう構築していくのか？

**答弁** 地域コミュニティによる共助の力を啓発し、自主防災組織設立につなげる。災害時避難行動要支援者の個別避難計画も進める。

## 令和2年度決算を認定

☆一般会計 690億4113万円

☆特別会計 253億1723万円

☆実質公債費比率 7.0%

※実質公債費比率は借金返済の度合いを測る指標。  
25%を超えると単独事業の起債が一部認められなくなります。

ブログ「横手市議会議員 青山ゆたかの活動日記」好評(?)更新中! <http://blueyama.com/blog/>

フェイスブック: 青山豊 ([yutaka aoyama](https://www.facebook.com/yutaka.aoyama))